

# 外国人介護士受入れを巡る 法改正と支援のあり方



講師：はっぴねす事業協同組合 事務局次長  
川崎市国際介護人材サポートセンター センター長  
松岡 恵美 氏

## ～概要～

現在、日本の介護現場で働く外国人の受け入れ制度としては、①経済連携協定EPAに基づく介護福祉士候補者、②日本の介護福祉士養成校を卒業した在留資格「介護」をもつ外国人、③日本人の配偶者、④技能実習制度を活用した外国人（技能実習生）、⑤在留資格「特定技能1号」をもつ外国人と分かれており、それぞれ制度や目的の違いがあります。

5月には、EPA制度について学びつつ、インドネシア人候補者から感想をお聞きしました。

今回は、松岡氏をお招きし、Ⅰ.技能実習及び特定技能の概要、Ⅱ.受入れ機関の役割と活動内容、Ⅲ.川崎市の支援事業等をお聞きしたいと思います。

尚、各制度や在留資格等の詳細を事前に学習したい方は、下記を参照して下さい。

■「外国人介護職員の雇用に関する介護事業者向けガイドブック」（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）WEB上でダウンロード可

■「滞日外国人支援基礎力習得のためのガイドブック活用研修」日本社会福祉士会会員の方は、4月より「e-ラーニング講座」に追加されました。是非、受講してみてください。

## ～講師紹介～

介護福祉経営士2級、エンドオブライフ・ケア援助士、保育士の資格を持ち、多方面から社会福祉に携わる。

介護員養成校に12年勤務し、介護福祉士養成や職業訓練校の運営など、資格取得並びに就労支援に従事。

2013年～株式会社シグマスタッフに入社し、埼玉県、東京都、静岡県、北海道、川崎市などの自治体からの委託を受け、介護人材の確保育成事業に実施責任者として携わる。

2017年～はっぴねす事業協同組合の立ち上げに従事し、現在は事務次長として、ベトナムとフィリピンからの技能実習生やインターンシップ生の受入に従事



主催 公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 承認 自主活動グループ  
「神奈川国際・多文化ソーシャルワーク研究会」  
(会長 平田美智子 IFSW アジア太平洋地域役員、本講演会企画 副会長 木村有孝)

日時 2019年10月11日(金) 18時半～20時半

場所 横浜市西区福祉保健活動拠点フクシア(横浜市西区高島2-7-1、ファーストプレイス横浜3階、日産ビル隣り 横浜駅東口から徒歩4分)

定員 約40名/ 参加費：研究会会員は無料。非会員の方は資料等代として御一人500円  
締め切り 特にありませんので、事前申込なしで当日に直接来場でも可です。

お問い合わせ 神奈川県社会福祉士会HP <http://www.kacsw.or.jp> の  
お申し込み 「学び」の案内掲示に申込欄があります。  
事務局電話：045-317-2045 E-mail：info@kacsw.or.jp  
又は、研究会事務局担当の明星圭介(あけぼし)まで。  
090-4399-6945 [westendk@hotmail.com](mailto:westendk@hotmail.com)